

製品名: テトラスパニン 8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18807**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	TSPAN8
別名	TSPAN8; TM4SF3; Tetraspanin-8; Tspan-8; Transmembrane 4 superfamily member 3; Tumor-associated antigen CO-029
遺伝子 ID	7103.0
SwissProt ID	P19075
免疫原	抗血清はヒト TSPAN8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 96-145

背景

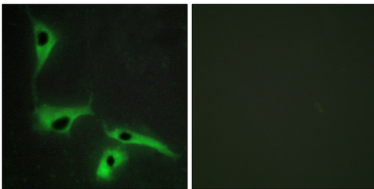
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型 4 スーパーファミリー（テトラスパニンファミリーとも呼ばれる）に属し

ます。これらのメンバーのほとんどは、4つの疎水性ドメインの存在を特徴とする細胞表面タンパク質です。これらのタンパク質は、細胞の発達、活性化、増殖、および運動性の調節に関与するシグナル伝達を媒介します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インテグリンと複合体を形成することが知られている細胞表面糖タンパク質です。この遺伝子は様々な癌で発現しており、この遺伝子では代替ポリアダニル化部位が利用されていることが分かっています。[RefSeq 提供、2008年7月],類似性: テトラスパニン (TM4SF) ファミリーに属します。組織特異性: 胃癌、結腸癌、直腸癌、および膀胱癌。、

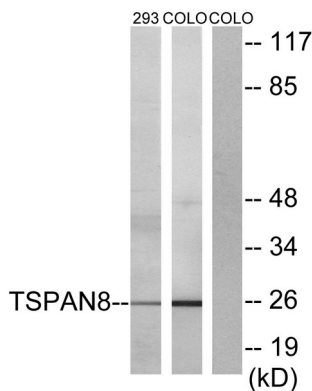
研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞型マーカー; 腫瘍関連; シグナル伝達; アダプター; 膜貫通; がん

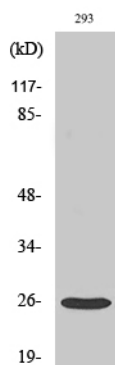
画像データ



TSPAN8 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TSPAN8 抗体を用いた 293 細胞および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈のテトラスパニン 8 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析